

国労東日本本部第28回拡大委員会開催

不採用問題—最終解決に向けて 組織の強化・拡大に自身を！！

2月10日—交通ビル



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 709 定価 20円

2011年
3月 7日

第28回東日本 拡大委員会 特集

<http://www.e-nru.com>



携帯用ホームページはこちらのQRコードから



国労東日本本部は2月10日、東京新橋・交通ビルにて第28回拡大委員会を開催し、大会以降の運動や取り組みの総括を確認し、更に、16名の発言により当面する闘争方針を確立した。



佐藤副委員長の司会挨拶で始まった第28回拡大委員会は冒頭、飯山線踏

切事故でお亡くなりになられた方に対する黙とうを行い、哀悼の意を参加者全員で表した。議長には盛岡地本・佐々木委員、副議長には東京地本・古沢委員を選出した。議事に先立ち執行委員会を代表して高野委員長は、急性の病気のため入院中の松井書記長欠席についての詫言と理解を求めつつ5点に亘って挨拶(別掲)した。

続いて来賓紹介、福田護顧問弁護士からの報告、国労本部・高橋委員長から順次挨拶を受け、公務により参加できなかった海渡雄一顧問弁護士からのメッセージを佐々木婦人部長が代読し紹介した。その後、議事に入り、大会以降の経過報告及び当面する闘争方針(案)について佐藤副委員長が提案、協約・また協定の締結承認について矢部執行委員が提案した。討論は、昼食休憩をはさみ16名(内、特別発言2名)が発言。それを踏まえ高野委員長が集約答弁を行い全体の拍手で方針が確立した。委員会宣言の採択、因泥青年部長の団結がんばろーで委員会は終了した。

続いて来賓紹介、福田護顧問弁護士からの報告、国労本部・高橋委員長から順次挨拶を受け、公務により参加できなかった海渡雄一顧問弁護士からのメッセージを佐々木婦人部長が代読し紹介した。その後、議事に入り、大会以降の経過報告及び当面する闘争方針(案)について佐藤副委員長が提案、協約・また協定の締結承認について矢部執行委員が提案した。討論は、昼食休憩をはさみ16名(内、特別発言2名)が発言。それを踏まえ高野委員長が集約答弁を行い全体の拍手で方針が確立した。委員会宣言の採択、因泥青年部長の団結がんばろーで委員会は終了した。



委員長挨拶 高野苗実

委員長の挨拶

国労の将来を展望し 一丸となって取り組もう

一つには、「JR不採用問題」の解決について。全面的解決には「雇用問題」という残された課題があります。今後の具体的な戦術など本部の提起に基づき、私たち東日本本部も全力をあげ取り組みなければなりません。

二つには、「安全」の問題について。安全から生まれる信頼を創り上げる事は鉄道会社として将来に亘る重要な課題であります。私たち労働組合の立場からこの事は重要な課題であることは言うまでもありません。しかし、2月1日、飯山線において踏切で列車と乗用車が衝突し、乗用車を運転されている方が亡くなられたというあってはならない事故が発生。

当該の地方本部とも打ち合わせを行い、JR東日本に原因の究明と対策について求め、二度とこうした事故を発生させないため取り組んで行かなければならない。

「安全・安定」輸送確立に向けた「技術力の維持向上と継承・発展」は最も重要な課題である。そのためにも、効率化が進められてきた現状の中で何が不十分であり、必要なのか、会社との率直な議論が必要である。併せて、働きやすい職場環境と働き甲斐のある労働条件の確立も必要であると思います。

三つには、「人事・賃金制度の見直し」と「労働条件に関する労働協約」について。「労働条件に関する労働協約」については昨年の大会確認をいただき、交渉を取り組んできました。1月13日にこれまでJR東日本が検討していた「人事・賃金制度の見直しについて」提案されました。この提案について、すでに解明要求に基づく交渉を取り組んできました。

「労働条件に関する労働協約」については、今後の交渉の進捗状況を見ながら機関会議を重ね取り組みを進めて行きたいと思っております。

また、こうした交渉を通して、一括和後の問題について、具体的な事実に基づき不公平感を感じることもないよう、改善に取り組むと共に、「健全な労使関係」の確立に取り組んで行かなければなりません。

四つには、2011年春闘について。春闘再構築の意義と課題をしっかりと認識し、闘う春闘をめざすことが重要となっております。

五つには、組織強化・拡大の取り組みについて。組織強化・拡大の取り組みは前進している。若い仲間を始め新しい仲間の加入によって職場・分会に活力を生み出し、自信と確信を持って取り組んでいます。

今後の国労の将来を展望し、組織が一丸となって取り組みを進めて行かなければなりません。

最後に、今年は統一地方自治体選挙の年です。組織内候補はもとより、反戦平和・平和憲法擁護・民主主義擁護の立場を明らかにする候補者の当選により「平和と民主主義」、国民生活を守るためにも共に奮闘し合いたい。



飯山線踏切事故でお亡くなりになられた方に対する黙とう

組織拡大 労働条件に関する労働協約 人事・賃金制度 に多数の意見

【第28回東日本本部拡大委員会（発言原稿）】

① 盛岡・菊池



組織拡大は、職場の中心軸に座

り、そのために組合員の集まる場を作り前に進んで行きたい。労働条件に関する協約について、一括和解の趣旨である「公平・公正な人事運用、労務管理」の深度化を東日本本部に求める。「新人事・賃金制度」は、相手が変わるのを待つのではなく、相手を変えて行く取組を強めて行かなくてはならない。

② 新潟・斉藤



の締結は、和解以降の

労使関係を再検証し、改善がされてからでも遅くない。より議論ができる討議資料の配布が必要である。人事・賃金制度の見直しについて、提案から2ヶ月で実施することは大問題である。平行在来線の問題は、国会の付帯決議の検証が必要だし、JRが負担する社会的

費用であると思うし、その責務がある。

③ 仙台・山田



JR不採用事件の和解が成立した

が、「雇用」が解決していない。本部として具体的な取組をしてほしい。エルダー制度の改善が早急な問題である。11春闘の要求獲得に向けてストライキで闘うことを願う。労働協約締結については、職場の闘いを基に交渉して行くことが大切である。新たな競争を生み、労働組合の任務を放棄させるような新人事・賃金制度には反対である。

④ 水戸・出羽

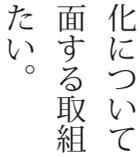


昨年12月1日に設備・電氣部門メ

ンテナンス体制の改善が、環境も整わないなか強行実施された。本部として交渉の中で抗議してほしい。新人事・賃金制度について、短期間で交渉を終わらせようとする会社の姿勢に組合員が怒っている。今後の交渉

に全力を上げてほしい。労働条件に関する協約について、本部として協約化についての方向性と当面する取組について聞きたい。

⑤ 東京・井草



「新人事、賃金制度」について、

是々非々という立場ではなく、職場から非正規労働者問題、成果主義との闘いをしっかり取り組むことを訴える。組織拡大について、東日本本部としても知恵と工夫、教訓を生かした提起が必要と考える。JR不採用問題について、雇用確保まで世論と運動に依拠した闘いを貫くことを訴える。

⑥ 東京・水越



人事・賃金制度は労働協約にほ

かならない。一括和解の趣旨からも、現在交渉が行われている労働条件に関する協約において引き続き扱うことが可能であると考える。労働協約締結は今後の労働運動を構築する立場からも重要で

ある。職場の中心に座り、要求実現・労働条件改善のためにも組織拡大が重要である。

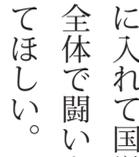
⑦ 高崎・尾臺



1047名国鉄闘争は、雇用問

題が解決していない。本部に要請をお願いする。労働条件に関する協約について、締結には慎重に議論し丁寧な手順で取り扱うことを要請する。新人事・賃金制度の提案（実施の時間設定は、労働組合との団体交渉を軽視したもの）である。エルダー職場の労働条件改善について、関連会社交渉を強化することが急務である。ストライキを戦術に入れて国労貨物労働者全体で闘いきる春闘にしてほしい。

⑧ 東京・長瀬

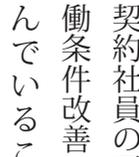


JRの委託会社が、採用募集をGS

配属駅の社内掲示板に張り出した。エリア本部として闘いをどう取組んで行くのか見解をお願いする。神奈川地区本部で、

契約社員意見交換会を開催し、仕事の悩みなどを聞いてきた。国労として契約社員の正社員化と労働条件改善に向け取り組んでいることを報告した。信頼関係を強め、組織拡大を取組んでいる。

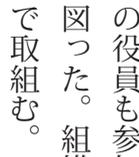
⑨ 長野・久保田



安全文化の構築などスローガ

はあるが実態が伴わないのが東日本の現状である。安全な職場を作り上げるためには、国労が会社にもものを言うていくことが必要である。人事・賃金制度は、粘り強い交渉と安易な妥協は避けることを求める。闘争団支援として、初めて家族会の役員も参加して交流を図った。組織拡大を全力で取組む。

⑩ 千葉・井村

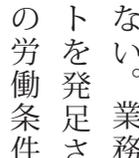


労働協約締結について、全組合

員までの丁寧な議論を行い、協約化についての決定を要請する。春闘について、本社を攻める具体的な闘いと、ストライキ

の配置を要請する。出向連の解散とその後について何も動きが見えない。業務プロジェクトを発足させ、出向先の労働条件改善の取組みを求める。不採用問題の雇用がまだ解決していない。国労運動路線の変質がないよう申し述べる。

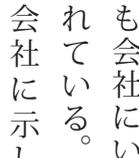
⑪ 東京・波能



労働協約を締結しても労働条件

が改善されるほど甘くない。エルダー問題について協約締結ありきは問題である。人事・賃金制度は賃金切り下げを堂々とするものである。職制が下位職でも会社にいい様に使われている。闘う姿勢を会社に示してほしい。職場でフレックスタイムの導入を提案しているが、様々な問題がある。

⑫ 秋田・後藤



人事・賃金制度の見直しについて

要求の多数派を目指

働きやすい職場環境と

東日本本部委員14名が発言
特別発言—貨物・婦人部

働きがいのある労働条件の確立を！

し、職場の運動と団体交渉を粘り強く取組むことが必要である。労働条件に関する協約について、就業規則と同様の協約を締結しても「申11号」の要求は前進しない。エリア本部から、メリット、デメリットの説明を願います。日本航空の解雇事件について、東日本本部としてどう向き合っていくのか明らかにしてほしい。



⑬ 東京・中澤

グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進に対する問題で、現在会社のスタンスがどうなっているか教えてほしい。組織強化・拡大の取組みについて、全体の底上げを図り新採獲得に努力していきたい。労働条件に関する協約を締結することは不自然ではない。新人事・賃金制度は、労使の取り決めを行い、公平公正な制度運用が行われることを要請する。

⑭ 仙台・大沼

統一地方選勝利に向け



て、組織として全力で闘うことを確認してほしい。労働協約の締結について、反対の意見の一方で協約締結の必要性を仲間は感じている。仙台地本は、職場改善の取組みと大衆行動の二本柱で春闘を闘ってきた。

「設備部門におけるメンテナンステ体制の改善」合理化について、施策の9年の検証ポイントとして、P会社の受注能力の問題、P社のプロパー育成、安全問題について追求した。

特別発言

東北貨物・岩井議長



託社員制度について、この間何度か改正がされたが、いろいろ問題が多く、本来の制度に戻して、出向ではなく本体に雇用し、働きやすい制度を創っていかなければならぬ。3月のダイヤ改正では、東北として125項目の要求提出。組織拡大に向け、春闘も含めて、必ずしも要

求がとれなくともこれだけ闘ったんだという闘いを！

特別発言

婦人部・小野寺副部長

毎月1回の常任委員会



と、年1回の「明るく！元気に！」学習交流会を開催。育児介護休業法が改正されたが、育児も介護も女性に負担が重くのしかかっている。育児を経て職場復帰されている女性も少なくないが、勤務問題など配慮に欠ける職場も。一方、未婚の女性からも働き続けることへの「不安」の声も聞かれる！



集約



執行委員長 高野苗実

組織拡大に向け 職場から全力で！！

特別発言を含め16名から発言を頂いた。

一・JR不採用問題の全面的解決に向けた取り組み

何故政治解決が進まないのか。4党の申し入れ文章を作成し、政府がJRに強く要請することで取り組んでおり、正式な要請の手続きの途中にある。

労働条件に関する協約は、昨年の大会で提起して以降、申11号として提出をし一括和解以降の実態や公正公平な人事を求めてきた。

二・労働条件改善・安全問題

貨物の3月ダイヤ改正で大幅な要員削減がされる問題が報告された。事故や第三者加害の問題について取り組んでいるが、今後も緊急性のある問題は、地方本部と連携を取り進めていく。

それと併せて1月13日に人事・賃金制度の見直し提案された。解明要求を出をし、取り組んでいる。両課題は労働条件で密接不可分な関係であり、本委員会の意見も踏まえ申11号については人事・賃金制度の交渉を優先していく。各地方・職場での宣伝活動などを通じて要求の多数派になるための取り組みをお願いする。

四・11春闘

安全仕事総点検運動を全体の取り組みとし、今の職場で何が不十分であり、何が必要なのかという視点から改善の取り組みを進めていく。

内需型の企業の典型であるJR東日本が今こそ日本の経済の中でのリーダーシップを発揮するときである。賃金交渉や期末手当の交渉時に会社に対して求めてきている。

三・人事・賃金制度の見直し及び労働条件改善に関する取り組み

貨物会社に対する取り組みをしていきたい。

組織内推薦候補をはじめとして、これまでご支援を頂いた議員の皆さんの当選に向けて全力を挙げて奮闘していききたい。

第24回国労東日本婦人部委員会を開催

1月23日 交通ビル

第24回国労東日本本部婦人部委員会が、1月23日東京・交通会館に於いて開催され、盛岡から長野まで、多くの東日本の婦人部組合員が集まり、2010年度運動方針について討議しました。

本部からは加藤婦人部長、東日本エリアからは因泥青年部長が出席され、挨拶を受けました。

質疑応答

盛岡① 今、盛岡健診センターは盛岡地区の健康診断をしている。雪が降る中



の健診は寒くて大変だ。2月まで健診をしていると医師の判定がその後になり、特定保健指導などのフォローアップが次年度になつてしまう。通知をもらった人も「何で今頃・・・」という。レントゲン車の運用のため、盛岡が最後になつてしまうためだ。

佐々木婦人部長挨拶

大変厳しい状況です。私も眼科に通っている。細かい文字が見えなく、ルーペを使いながらの毎日なのでこのまま仕事が続けられるか不安だ。

先日自動改札機の鍵をなくす事故を起こしてしまつた。出札も改札の仲間もみんなで心配し、探し回つてくれた。鍵は翌日お客様の鞆に引っかかっていたと届けられたが、本当に良かった。「見つかった！ありがとー！」メールをみんなに送ったら、すぐに返事が来て、「みんなあなただから心配して探したんだよ」という。若い子たちと仕事をするのは大変なこともあるが、そういう風に（私を）見てくれたと胸が熱くなった。

長時間勤務で、改札に立っていると大変なので仲間と助け合っている。状況は厳しいがその中でどう仲間をつくって闘うかが大切だ。

盛岡②

55歳で給料が減額になった。次々と新しい仕事を覚えなくてはならない。

仙台①

仙台は組織が7名だが、エルダー社員が3名、社員が4名だ。組合の役職を決めるのが困難になつてきた。私は「ビジネスえきねっと」にいるが出勤扱いのエルダー社員だ。日勤で後方勤務もいるので仕事は問題ない。お客の扱ひもないし、働きやすい。

仙台病院

55歳で退職を決意した。もう一人の国労組合員も今年で退職だ。職場では、生理休暇は取れないし、妊娠してからの夜勤勤務の免除もない状態だ。

新宿①

男の中で、女一人で仕事をしている。一人で窓口対応をしていると、孤立している気持ちになる。夜に客がきて長居することもある。生きがいを持つてできる仕事ではない。



一人勤務の時にはブザーも監視カメラもある。先日ブザーを間違つて押したが誰も来なかった。ブザーのあることを他の社員が知らなかった。間違つて押したことだが、誰も来なかったことはショックだった。防犯スプレーもあるが、ポケットに入らず現実的でなく、ロッカーに入つたままだ。

新宿②

東労組は、自分の都合のいいように勤務を作る。他の人に配慮するなと考えていない。

東京病院①

婦人部学習会を2010年7月までやつてきた。8階病棟に二交代の提案があった。組合との団交もないままの強行実施だ。人が足りない中で実施され、5回の泊りがあると10回の夜勤をしたような感じで、体がぐたぐた。年休も消化されないうまま年度末になる。

東京病院②

3月が来る16年目になる。7階で働いている。新人は、最初は私にはつけない。私には「いやめてもいいわ」という。私に対してはチェックが厳しい。発言もさせない。

「2011年東北地方太平洋沖地震」に対する声明

3月11日、午後に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、最大震度7、マグニチュード9.0という日本の観測史上最大・最悪のものとなりました。地震直後に発生した巨大津波によって沿岸部の町々が壊滅状態となり、多くの尊い人命が失われました。また、地震による建物倒壊、火災や爆発事故で多くの方が負傷されているとの情報も次々と明らかとなっております。いまだにライフラインが寸断され、寒さと飢えの中で救助を待つ被災者が多数おられますが、この度の震災で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。また、JRをはじめとする公共輸送機関の各施設にも多大な被害状況が次々と明らかとなっておりますが、復旧に向けて懸命に作業にあたっている関係者と組合員に敬意を表します。国鉄労働組合は、この度の震災で被災された組合員・家族の支援と救援に全力を挙げるために東日本本部とともに「東日本大地震災害対策本部」を設置いたしました。

組合員・家族の安否確認と被害状況の把握に全力をあげるとともに、必要な支援について今後対応をすすめてまいります。何より、国民の足を守る立場から、会社と協議し鉄道の復旧・復興に全力をあげることも明らかにするものです。日本各地の友誼組合の他、ITFからもお見舞いのメッセージが届けられています。国鉄労働組合は、被災された仲間への激励・支援に全力をあげる決意をあらためて明らかにするとともに、全国の仲間からの支援・連帯を要請するものです。皆さん、ともに頑張りましょう。

2011年3月14日
国鉄労働組合
同東日本大地震対策本部

先週遅刻をしてしまった。初めてだったが、シヨックだった。昼になったら看護部長室へ行けと言われた。欠勤届けを書き、夕方1時間働いてくださいと言われた。

東京病院③

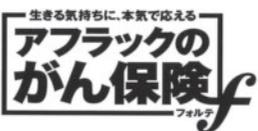
一般病棟に二交代が入つてくる。我々の要求をまとめていく必要がある。会社は二交代になると、超勤の発生がなくなると考えている。しかし、交代要員がなくなつてしまつたため私たちにとってはきついことになる。団交については交渉には応じるが回答はしないと強気だ。

因泥青年部長挨拶

今回の国鉄闘争の解決は、23年にわたる運動の積み重ねであった。闘争団の先輩と闘つてこれたことを誇りに思う。国労の闘いは、他の闘う労働組合の励ましになつたと考える。

我々は、今後は雇用対策に全力を尽くす。

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。



〈引受保険会社〉

Aflac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■専業代理店

アベニール 株式会社

TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

○詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

AF104-2008-0124 4月18日